

第4章 基本的な取組

1. 街路樹の健全化

道路空間の安全を高める機能を効果的に発揮していくため、日常的な維持管理に加え、「街路樹診断」や「危険木の撤去」といった従来の取組を継続し、健全な街路樹を育成します。

(1) 街路樹診断・危険木の撤去

樹木医による街路樹診断を実施し、日常点検では発見が困難な不可視部分の状況を把握すると共に、危険木と診断された樹木をすみやかに撤去することで安全な道路交通を確保します。

1) 街路樹診断の実施

樹木医による街路樹診断を実施し、1本ずつ健全度を調査します。

対象は、植栽後年月を経た市管理の路線とし、実施路線は下記の診断項目に加え、過去の枝折れや倒木の発生状況を踏まえて判断します。

今後は先進技術を用いた樹木診断の導入も検討していく。

主な診断項目

- 樹齢
- 樹種
- 目視による樹勢
- 植栽状況
- 腐朽度合い



街路樹診断イメージ

2) 危険木の撤去

危険木と診断された樹木は、すみやかに撤去します。

2. 街路樹の改善

適正かつ持続可能な維持管理を実現するため、これまで行ってきた「樹種の改善」及び「配置の改善」という 2 つの取組を強化することで、「街路樹の改善」を加速していきます。

(1) 樹種の改善

街路樹が植えられる周囲の状況や樹木の特性を考え植え替えることで、美しい景観づくりを行うことができるだけでなく、枝の民地への越境や病害虫の発生など周囲への影響を軽減し、街路樹の維持管理作業および費用の軽減にもつながります。

市民アンケートや業務受託者アンケートからの意見も踏まえた樹種検討の考え方は次のとおりです。

1) 早生樹種からの転換

早生樹種については、積極的に他の樹種へ転換します。

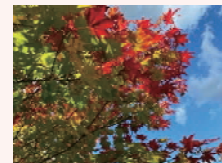
2) 郷土種の積極的な採用

樹種変更においては、生長が穏やかで病害虫が発生しにくいなど、街路樹としての適性が高い樹種を採用すると共に、生物多様性を考慮し、郷土種を中心に選定します。

＜都心＞
札幌の顔としてふさわしい魅力的な樹種
(例：ハルニシなど)



＜住宅地＞
将来的な大きさがコンパクトな樹種
(例：ヤマモミジなど)



樹種の改善イメージ（左：樹種の改善前（プラタナス） 右：樹種の改善後（ハシドイ））

なお、道路整備工事等に伴い街路樹を新たに植える場合も、上記考えを踏まえて樹種を選定します。

(2) 配置の改善

1) 幅の狭い歩道にある街路樹の改善

幅の狭い歩道にある街路樹は、通行支障や住宅地へ越境を繰り返すなど問題が多いため、現在定めている基準に基づき、配置の適正化を引き続き進めていきます。

街路樹の配置基準

街路樹の配置は、下表のとおり歩道の幅員に応じた取り扱いとします。幅の狭い歩道に街路樹がある地域では、地元住民の皆様との話し合いや事前に周知を図りながら街路樹を撤去する取組を進めます。

植樹は、下表とする。

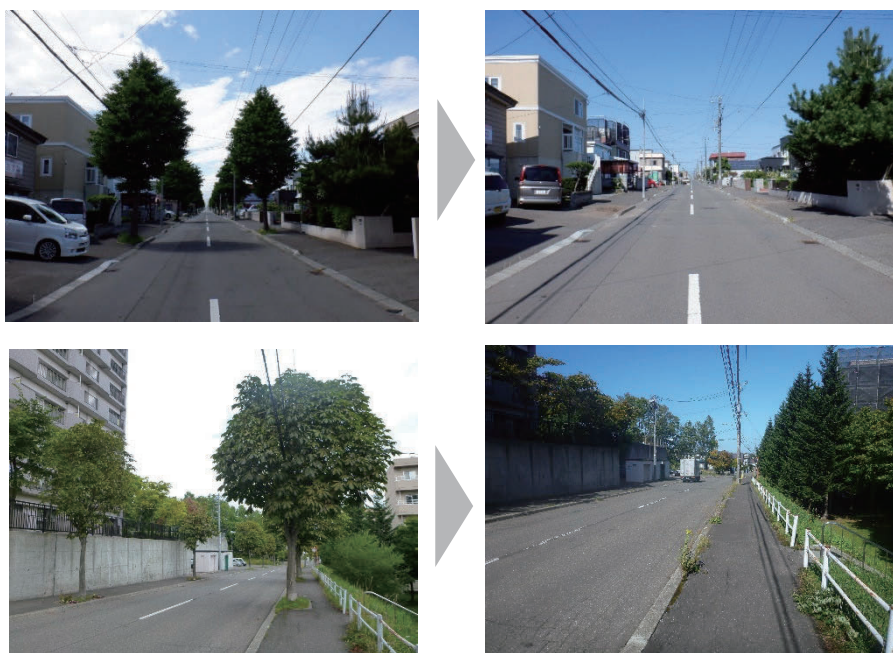
歩道幅員	新規植栽	既存木の補植
3.5m以上	○	
3.0m以上3.5m未満	△※	
3.0m未満	×	

※歩道幅員 3.0m以上 3.5m未満における街路樹の取り扱い

各区土木部公園緑化係と協議の上決定する。

原則植栽は行わないが、当該道路の接続先の道路に既に連続して街路樹が植栽されている場合、交通量の多い道路や通学路の交通上必要だと判断される場合、周囲に緑地などのまとまった緑がない場合等、周囲の状況から街路樹を植栽することが適当である場合には、地元との調整のもと街路樹植栽を検討する。

(関連方針：札幌市「歩道施工ガイドライン」)

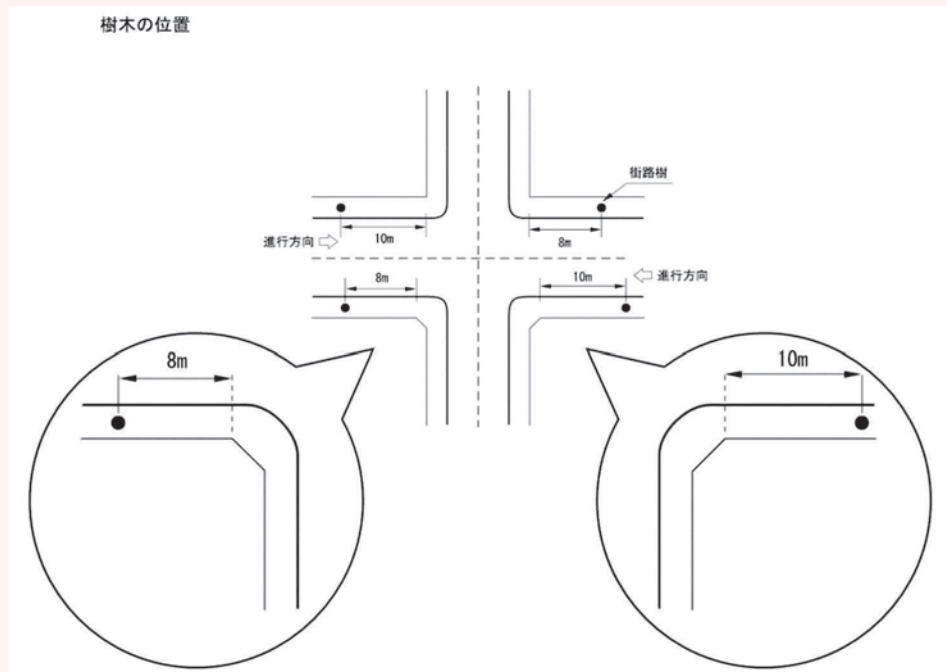


配置の改善イメージ（左：配置の改善前 右：配置の改善後）

2) 交差点部街路樹の改善

交差点部分については、原則として、交差点部分から 8.0m～10.0m以内を避けることとし、移植や伐採を検討いたします。

交差点部の植栽基準



(関連方針：札幌市「歩道施工ガイドライン」)

コラム

樹木が健全に生育するためには一定の植栽間隔が必要です。

植栽間隔は 8m 程度確保することが望ましいですが、将来生長する大きさを考え、より広い間隔が必要な場合があります。



一定の植栽間隔を確保した街路樹

3. 都心と主要幹線道路の街路樹の魅力向上

札幌に相応しい風格あるみどりの街並みを形成していくため、これまで取り組んできたボリューム感のある樹形づくりである「ボリュームアップ剪定」のみならず、樹種や植栽環境、路線ごとの状況に合わせたきめ細やかな「魅力アップ剪定」を行うことで、みどりの魅力をより一層向上させていきます。

(1) 都心と主要幹線道路の街路樹の魅力向上

1) 魅力アップ剪定

樹種や植栽環境等、路線ごとの状況に合わせたきめ細やかな剪定を行うことにより、魅力的な樹形づくりを行います。

本取組は、西3丁目線・札幌駅前通などの都心や、環状通・北1条宮の沢通などの主要幹線道路といった、本市を代表する道路において実施します。

都心及び主要幹線道路の街路樹の目指す姿

- 札幌の顔にふさわしい風格のある美しい健全な街路樹
- 札幌らしい大きな緑の骨格となる街路樹
- 四季の変化に富んだ美しい街路樹



魅力アップ剪定イメージ（左：剪定前 右：剪定後（札幌駅前通））